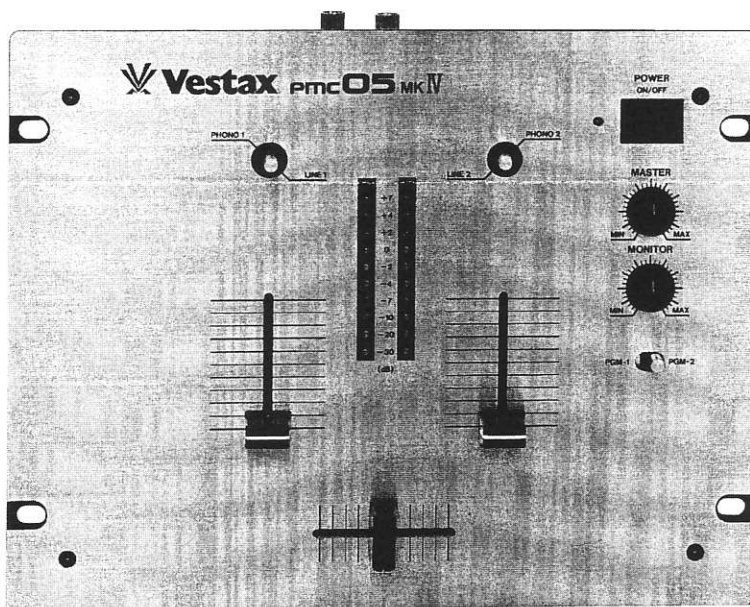


Vestax[®]

PMC05MKIV

PROFESSIONAL MIXING CONTROLLER

取扱い説明書



ベスタクス株式会社

〒154 東京都世田谷区上馬2-37-1

電話 03-3412-7011 ファックス03-3412-7013

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-05MKⅣプロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機はパフォーマンスミキサーの代名詞として、世界中のスクラッチパーフォーマー達に愛されてきたPMC-05の最新モデルで、プロDJの意見をとり入れた数々の特長を備えています。

本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書を良くお読み下さるよう、お願いいたします。

[VESTAX PMC-05MKⅣの特長]

- フェーダー周辺の溝やネジを新機構のツインパネル(特許出願中)で排除。プロDJの意見を反映させたツマミ配置と共に、パフォーマンス性が最大限にアップしました。
- インプット切り替えレバーは、操作方向を縦・横・斜め45度に自由にセッティング可能。トランスフォーマースクラッチの際に、最適なポジションを選択できます。
- 音質を重視した、FET入力タイプのOPアンプを内部回路に採用。あらゆるサウンドソースをクリアにミックスできます。
- 凸凹をなくし、シンプルさに徹した斬新なパネルデザインです。

安全上のご注意

- 本機はACアダプター専用です。交流電源や他の異なる電圧の直流電源に直接つないで使用することはできません。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くと、コードを傷めてしまいます。
- 水などに濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。
- ビニールなどの被膜が切れたり、擦れたりして芯線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また、本機内部に水などの液体や可燃物およびピンなどの金属類を入れないようにご注意下さい。感電や故障の原因となります。
- 本機外装のカバーを取り外して内部に手を触れないでください。この結果生じた損傷、感電や火災等について、当社はその責任を負いません。

アフター・サービス

1. 本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載事項をご確認の上、大切に保管して下さい。
2. 保証期間中は保証書の記載内容により、当社サービス機関が修理いたします。
3. 保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

設置上のご注意

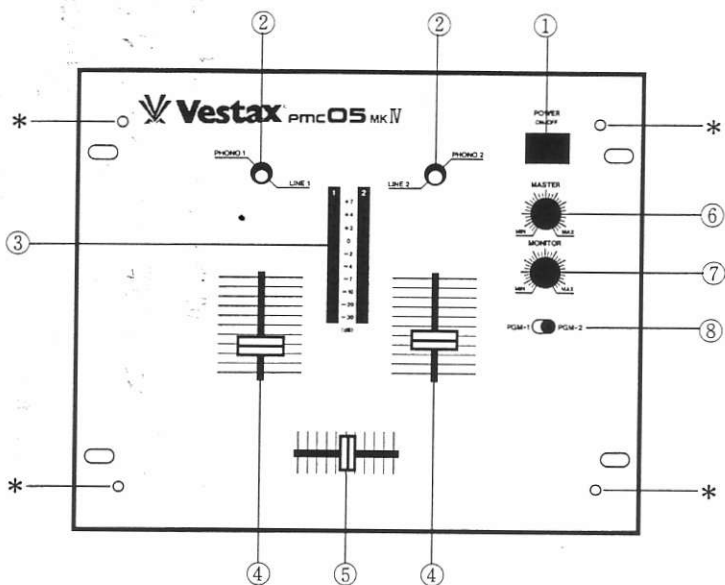
常温(5~35℃)、通風が良い、頑丈で電源電圧の変動の少ない場所に設置して下さい。アルコールやシンナー等の溶液で塗装面をふかないで下さい。塗装がはげることがあります。

ご注意

本体の保証期間は1年ですが、クロス・フェーダーやインプットフェーダーなどを耐久力を越えた使い方、例えばスクラッチプレイなどでお使いになると、通常パーツの耐久期間として保証されている期間(1年以上)を、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合の交換につきましては、当社の判断により実費を請求させていただきます。

また、パーツに無理な力を加えると破損することがありますので、本機の性能に疑問が生じた場合は、お買い上げの販売店が弊社までお問い合わせ下さい。

各部の名称とはたらき



フロント・パネル

① パワースイッチ

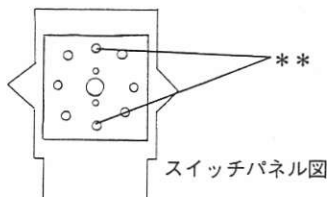
電源ON/OFFスイッチです。ONのときにLEDが点灯します。このスイッチを操作する際には、パワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行なって下さい。

② インプットセレクター

各プログラムチャンネルの入力をPHONO、LINEのいずれかに設定します。スイッチを倒した状態でLINEになります。また、トランスフォーマースイッチとしても使用できます。

* トップパネルを取り外すことにより、このスイッチの操作角度を変更することができます。操作角度の変更は、次の要領で行って下さい。

- 各フェーダーのつまみと、トップパネルを留めてある4本のネジ(*)を取り外します。
- トップパネルを取り外します。
- スイッチパネルの外側ネジ(**)を外し、任意の角度にしてネジで留めます。



③ インプットレベルメーター

各プログラムの入力レベルを表示します。

④ インプットフェーダー(PGM 1, PGM 2)

各プログラムの入力レベルを設定します。クロスフェーダー

左側に移動するに従いPGM1の音が、右側に移動するに従いPGM2の音が、それぞれ出力されます。また中央部では、両方の音が同時に出力されます。

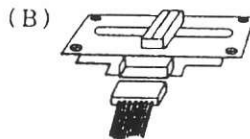
* インプットフェーダーやクロスフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、フェーダーユニットを交換して下さい。インプットフェーダーには“IF-005”を、クロスフェーダーには“CF-R”をお使い下さい。なお交換の際は次の要項で行って下さい。

- 各フェーダーのつまみと、トップパネルを留めてある4本のネジ(*)を取り外します。
- トップパネルを取り外します。
- フェーダーユニット取り付けネジ(4本)を外します。

(A) ④ドライバー



- フェーダーユニットからマルチケーブルコネクターを抜きます。



- 新しいフェーダーユニットに、コネクターを差し込み取り付けネジで固定します。

⑥ マスターボリューム

ラインアウトからの出力レベルを設定します。

⑦ モニターボリューム

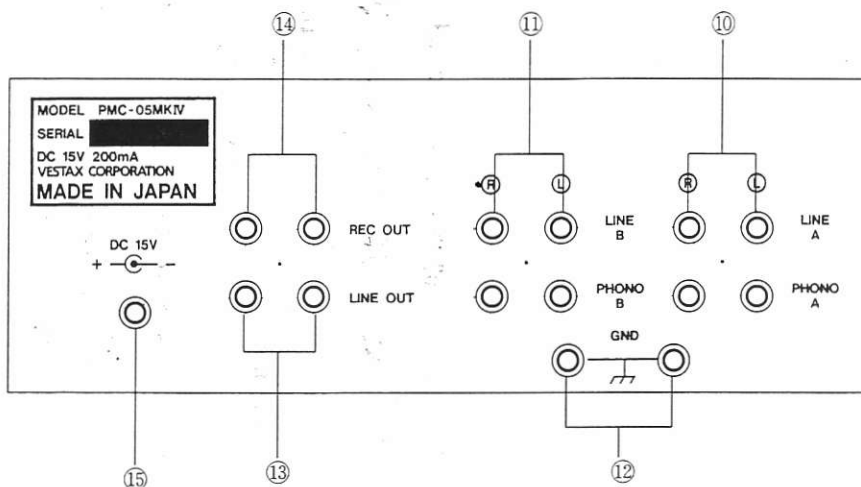
ヘッドフォンモニターの音量を調節します。

⑧ モニターセレクトスイッチ

ヘッドフォンでモニターする信号を選択します。PGM1にセットするとインプットジャック1に入力された信号が、PGM2にセットするとインプットジャック2に入力された信号がモニターできます。なお、このモニターはプリフェーダーになっているので、インプットフェーダーを下げた状態でもそのプログラムの音をモニターすることができます。つまり実際に外へ音を出さずにモニターが可能なので、例えばクロスフェーダーをPGM1側にしてインプットジャック1に接続されたレコードを演奏しているときでも、このスイッチをPGM2にすることによって、DJだけがインプットジャック2に接続された音を聴いて頭出しやスクラッチポイントを捜し出すことができます。

⑨ ヘッドフォンジャック

ステレオタイプや片耳タイプのヘッドフォンを接続します。スプリットキュータイプなので、R側からはラインアウトの音が、L側からはモニターセレクトスイッチで選んだ音がモニターできます。



リアパネル

- ⑩ インプットジャック 1
PGM1用のインプットジャックです。PHONOにはターンテーブルをLINEにはCDプレイヤー、テープデッキ、リズムマシン、サンプラーなどを接続して下さい。
- ⑪ インプットジャック 2
PGM2用のインプットジャックです。⑩と同様に接続して下さい。
*本機のPHONO入力にはMC型カートリッジは使用できません。ご使用の際には、昇圧トランスなどでレベルを合わせて下さい。
- ⑫ グランドターミナル
ターンテーブルのアースコードを接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。
- ⑬ ラインアウトジャック
最終的にミックスされた信号が出力されます。アンプなどに接続して下さい。(オーディオ用アンプの場合、LINEやAUXの表記がある端子に接続します。)
- ⑭ レコーディングアウトジャック
録音用の出力ジャックです。マスターボリュームの設定に関係なく、インプットフェーダーとクロスフェーダーで設定されたバランスで出力されます。
- ⑮ DCインプットジャック
付属のACアダプターを接続します。

仕 様

● 入力レベル/インピーダンス	
LINE	-10dBV/50k Ω
PHONO	-42dBV/470k Ω
● 規定出力レベル/インピーダンス	
LINE	-5dBV/220 Ω
REC	-10dBV/4.7k Ω
● 周波数特性	10Hz~100kHz
● SN比	90dB以上 (JIS A WTD)
● 外形寸法 (W×H×D)	267×81×204mm
● 重量	2.3kg

VESTAX CORP.

2-37-1 Kamiyama, Setagaya-ku, Tokyo 154

Phone: 03-3412-7011 Fax: 03-3412-7013

VESTAX MUSICAL ELECTRONICS CORP.

2860 Cordelia Rd. Suite 120 Fairfield, CA 94585 U.S.A.

Phone: 707-427-1920 Fax: 707-427-2023

VESTAX (Europe) Ltd.

18 St. Christopher's Road, Haslemere, Surrey GU27 1DQ England

Phone: (0) 1428-653117 Fax: (0) 1428-661021